

No.407号

2021年3月1日

発行 金町第一団地自治会

責任者 相田 壯一

連絡先 電話 090-9008-7433



# 金町第一団地

自治会へのご意見は、メールアドレス：  
kanamachidaiichi@yahoo.co.jp

みんなが住み続けられる

金町第一団地を！

近隣社会と共存できる

金町第一団地を！

ホームページ：

<http://enjoy1.bb-east.ne.jp/~tk4982/danchi/kana-danchi-top-03.html>

## ただ今、令和三年度、金町第一 団地自治会役員が改選中です！

表記の役員選挙は、役員選出規定第九条により、二月二十七日(土)午前十時より受付を開始いたしました。なお、×切は三月五日(金)十九時といたします。直接選挙で改選する役職は、金町第一団地自治会規約第十四条により、会長、副会長、事務局長、会計長、会計監査です。立候補される方は、役員選出規定第十条に基づき①氏名②年齢③住所(号棟)④立候補する役職⑤四百字以内の立候補または推薦立候補理由⑥推薦者の住所(号棟)及び氏名⑦その他必要と認める事項を記入の上、選挙管理委員会までご提出ください。

お一人でも、お二人でも自治会役員として、ご一緒できる方を切望しています。コロナ禍で大変な中、また自然災害がいつ起こってもおかしくない中、社会進歩を目指す活動として、あなたのご協力をお待ちしております。

なお立候補者が定数に満たない場合は、選挙管理委員会を役員選考委員会に切り替え、三月七日午前、居住者の皆さんへ役員就任要請に伺いますので、その節はよろしくお願いいたします。

令和三年度役員選挙管理委員会

委員長 吉岡 肇(ハ一四〇七)

☎削除

委員 岡崎 理史(三二二〇二)

☎削除

委員 香川 利民(八一五〇三)

☎削除

委員 石井 安久(顧問)

☎削除

**小学校に入学されるお子さんの  
保護者の方は、自治会会長までご  
連絡ください！**

今年度の新入学児童の保護者の方は自治会会長までご連絡ください。すでに新入学一名の届け出がありますがお忘れの方はないでしょうか。金町第一団地自治会は、新成人と新入学児童に

記念品を贈呈していますのでお忘れなくお願いいたします。

連絡先 四一三〇五 相田 壯一

☎削除

**大災害の時代と言われて久しい  
ですが！**

コロナ禍で、いたずらに不安をあおることになったら申し訳ないと思いつこの記事を書きました。

二月十三日の深夜、福島県沖を震源とする、最大震度六強の地震が発生し、東京は震度四でしたが、強く長い揺れに驚かされました。

そのニュースの中で気象庁は、間もなく十年目を迎える東日本大震災の余震であると発表、その翌日の新聞のコラム欄には濃尾地震(明治二十四年十月二十八日・M八)の余震が百年以上たった今も続いていると記されていました。(裏面の表の一番目)

裏面の表は、明治以降、我が国で千人以上の死者・行方不明者を出した地

震・津波の一覧です。また、一九九五年（平成七年）一月の阪神淡路大震災から震度六以上の地震は三十七回を数えます。その他、火山の噴火や、海水温度の上昇などによる豪雨など、日本列島を襲う確率は高まってきているのです。

つまり、今や日本列島は、「大災害の時代」に入ってきており、いつ、どこで、どのような自然災害が起きてもおかしくないのです。

この間自治会は、金町第一団地一階居住者に対する「水害対応アンケート」や、URから支給されたマグネット式安否確認札を配布するなど防災・減災に向けて取り組んできました。

防災・減災は難しい問題ですが、居住者の皆さんの声を自治会まで届けてくださるようお願いするものです。

全国のUR住宅は、阪神淡路大震災と東日本大震災の二度にわたる大地震を乗り越えてきた住宅で、安全性は確かめられています。従って災害時は、避難しないで居室に留まることになっています。その際、三〜七日分の飲料と厚手のスリッパや懐中電灯・ラジ

オ、乾電池などが必要となりますが準備は整っているでしょうか。こうした時に頼りになるのが自治会です。自治会未加入の方は、この機会に自治会に入会されることを心より呼びかけるものです。

### 編集後記

URからLED化が提案され、「切り替えに四百万円かかるが、それを共益費で負担してほしい」と言われ、自治会は「設備なのだからURが負担すべきだ」と主張し、棚上げにされていたものです。

ご案内のように、現在の八号棟は、建設時に共用部分がLED化されています。こうした経過を見れば、設備なのだからURが負担すべきだという自治会の主張の正当性が浮かび上がるだけですが、今年三月には、いわゆる蛍光灯は生産が中止となるという話が伝わってきています。URが早急に決断し、一〜六号棟の廊下の蛍光灯設備が錆びて、画竜点睛を欠く事態を、一刻も早く収めて欲しいと願わずにはいられません。

明治以降(123年間)、我が国で1,000人以上の死者・行方不明者を出した地震・津波

発生日月	M	地震名(震災名)	死者・行方不明者
1891(明治24)年10月28日	8	濃尾地震	死者 7,273人
1896(明治29)年6月15日	8,2	明治三陸地震	死者 21,959人
1923(大正12)年9月1日	7,9	関東地震(関東大震災)	死・不明 10万5,000人余
1927(昭和2)年3月7日	7,3	北丹後地震	死者 2,925人
1933(昭和8)年3月3日	8,1	昭和三陸地震	死・不明 3,064人
1943(昭和18)年9月10日	7,2	鳥取地震	死者 1,083人
1944(昭和19)年1月27日	7,9	東南海地震	死・不明 1,223人
1945(昭和20)年1月13日	6,8	三河地震	死者 2,306人
1946(昭和21)年12月21日	8,0	南海地震	死・不明 1,443人
1948(昭和23)年6月28日	7,1	福井地震	死者 3,769人
1995(平成7)年1月17日	7,3	兵庫県南部地震 (阪神・淡路大震災)	死者 6,434人 不明 3人
2011(平成23)年3月11日	9,0	東北地方太平洋沖地震 (東日本大震災)	死者 19,667人 不明 2,566人